

○第68回 秋季関東高校野球 茨城県大会

H27. 9. 25～10. 4

県北地区予選

- 太田一 10 - 2 東海
- 太田一 4 - 3 多賀

県大会

一回戦

- 太田一 10 - 0 守谷 (5回コールド)

二回戦

- 太田一 6 - 2 東洋大牛久

準々決勝

- 太田一 2 - 1 水城

準決勝

- ×太田一 0 - 1 霞ヶ浦
(ベスト4)



太田一は、強力打線を武器に26年ぶりの4強入りを果たした。1回戦では本塁打を含む11安打でコールド勝ち。2回戦では今夏の茨城大会で第1シードだった常総学院を1点に抑えた東洋大牛久のエースを攻略。準々決勝では終盤に4安打をたたみかけ、逆転で第3シードの水城を破る快進撃をみせた。矢幅春彦監督は「試合を重ねるたびに選手たちの勝利への執着心が強くなっていった。精神面の成長が大きな収穫です。」と話した。

茨城県立太田第一高等学校野球部 5

○今年(2015年)、12月25日からオーストラリア・ブリスベンで行われる、日豪親善高校野球交流試合に、北関東選抜メンバー(埼玉、群馬、栃木、茨城)として、本校の 川崎 進也 選手(2年遊撃手・瑞竜中)が選ばれました。
(茨城県からは5名)



結団式 2015.11.4
(埼玉・大宮公園野球場)



○今年(2015年)、台風18号による鬼怒川堤決壊によって、甚大な水害に襲われた常総市のボランティア活動を行ってきました。



2015.9.19



現地に着くと、想像をはるかに超える悲慘な状況でした。被災された方々の生活は、言葉では言い表せないほど過酷だと感じました。普通に、当たり前にも暮らせる事が、どれだけありがたいことなのか、幸せなのかを実感しました。(部員、感想文より)

茨城県立太田第一高等学校野球部 6

○太田一高野球部 専用球場 (太田一高第2グラウンド)



所在地：常陸太田市下大門



☆このグラウンドで甲子園めざし、白球を追おう！



○太田一高トレーニングルーム (体育館1F)



☆フィジカルコーチ (本校OB) によるパワーアップDAY！！

茨城県立太田第一高等学校野球部 7

○栄養学講座



保護者の方にも参加して頂き、体づくりの勉強をしています。

○県外遠征試合



2015夏は東北遠征でした

最近の卒業生の実績と進路

★進学

2010年3月卒(夏ベスト8)

- ・筑波大(体 野球部)→筑波学園ガス(投手中) ・早稲田大(スポーツ科学) ・法政大(スポーツ)
- ・都留文科大(文)→高校教員(社会)合格、野球部監督 ・立命館大(スポーツ) ・国学院大(文) 等

2011年3月卒(河北高校野球大会優勝)

- ・中央大→高校教員(社会)合格、平成28年度正採用予定
- ・茨城大(工) ・高崎経済大(経済) ・日本大(法)(経済) ・専修大(商) 等

2012年3月卒(秋ベスト8)(21世紀枠茨城推薦)

- ・大東文化大(スポーツ 野球部4年)→投手、高校時、アメリカ遠征選抜選手
- ・日体大(4年)→小中学教員合格、平成28年度正採用予定 ・国学院大(人間開発)
- ・琉球大(医学) ・慶応大(理工) ・茨城大(教育)(人文) ・東京理科大(理工) ・獨協大(経済) 等

2013年3月卒(秋ベスト16)

- ・流通経済大(野球部3年)→平成27年度全日本大学野球選手権 準優勝(外野手として出場)
- ・茨城大(人文) ・東洋大(理工) ・東京理科大(理工) ・国際医療福祉大(薬) 等

2014年3月卒(夏ベスト16)

- ・東海大(体 野球部2年)→投手、プロ注目選手
- ・青山学院大(法 野球部2年)→捕手で活躍中
- ・秀明大(学校教師) ・日体大(保健医療) ・帝京大(医療技術) ・茨城キリスト教大(文) 等

2015年3月卒(秋ベスト16)

- ・茨城大(教育) ・秀明大(学校教師) ・大東文化大(文) ・杏林大(保健) ・東洋大(食環境)
- ・立正大(文) ・流通経済大(スポーツ) 等

★就職

- ・県庁 ・市役所 ・消防署 ・警察署 ・JR ・銀行 ・東電 ・原研 ・理学療法士など、自分の夢を実現し、各方面で頑張っている。

茨城県立太田第一高等学校野球部 8

○太田一高正面玄関の書 「博学之 審問之」



順天堂第三代堂主

医学博士 男爵 佐藤 進



佐藤 進 (1845～1921) は幕末から明治にかけての医学者、陸軍軍医總監。順天堂第三代堂主。順天堂医院長、東大付属病院初代院長。

常陸太田市、現在の内堀町にある酒醸造業（のちのヨネビシ醤油）二代目高和清兵衛の長男として生まれる。幼い頃から勉学に励み、**太田郷校益習館**で一心に学んだ。そして、医学の道に精進するため14歳の時、下総（千葉）佐倉の順天堂に入門。後に順天堂第三代堂主となる。

明治2年、24歳の時、**日本新政府発行パスポート第1号**を得て、単身ドイツ・ベルリンに留学。**ベルリン大学を卒業**し日本人初の「ドクトル」の称号を得る。帰国後、順天堂医院を東洋一といわれる総合病院に築き上げ、医療と医学教育に従事し、**野口英世の指導**もおこなった。進は、郷土太田のために多額の寄付金を贈り、進徳幼稚園や太田小学校講堂なども建てられた。

玄関にある進の書「**博学之、審問之**」は儒教經典の一つ「中庸」にある「博学之、審問之、慎思之、明辨之、篤行之」からの一節。《博（ひろ）くこれを学び、審（つまび）らかにこれを問（と）い・・・》その意味は、「物事を幅広く学んで、不明なことは詳しく質問し、慎重に思索し、正否を明らかにし、そして身につけた知識を真剣に実行することが努力して誠に至る道」それが**学問のみならず人生の基本**であると唱えている。このほかに、「途中でやめない、あきらめない努力、地道な勉学の継続」こそが**誠への正しい道**としている。まさに**太田が誇る偉人**、**佐藤 進**自身が**体現した言葉**だと強く感じる。

これを日本の「野球の教え」「野球道」と重ねてみてはどうだろうか。

